

昨年の外部諮問委員会にて
いただいたご意見への対応報告

頂いたご意見に対する取組みプロセス

2022年10月： 外部諮問委員会におけるご意見の聴取



2023年7月： ご意見に基づく湘北短大の各学科での取組み状況と成果を湘北内の自己点検評価委員会に報告



2023年9月： **本日**、その内容を外部諮問委員の皆様へ報告

頂いたご意見への対応(DX関連)①

| ご意見の内容 | アプリや仕組みをあれこれ使い倒してみようとする姿勢が大切。 |
|--------------------------|--|
| 対応と成果 (B学科・LAセンターの事例) | <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="624 396 2479 639">• 学科1年生必修科目でBYODを導入し、授業中の質問に対する回答や課題レポートの提出などにPCを用いて取り組ませた。こうした取り組みによって、情報メディアコース以外の学生のPC活用に対する苦手意識がかなり払拭された。<li data-bbox="624 715 2479 958">• 学科1年生必修科目で、座学ではなく実体験を主体とし、必要なPC・周辺機器・ソフトウェアなどを自分の力で選べるように指導した。また、実社会でのITの活用例を調べ、そのために必要な知識やスキルが何かを理解できるように授業を展開した。<li data-bbox="624 1033 2479 1276">• 必修科目で、ICTを活用したコミュニケーション及び情報の取得・創出・管理・発信ができることを目標とし、セキュリティ・モラル・著作権に関して説明できるよう指導した。また、データサイエンスやAIとは何かの説明と共に、社会での活用例を説明できるように授業を展開した。 |

頂いたご意見への対応(DX関連)②

ご意見の内容

DX教育と併せて、機器に頼りきることなく、口頭で伝えられたこともしっかり受け止めることができる、IT機器に疎い年代と円滑なコミュニケーションをとって操作を教えられるような、**対人的スキル**を伸ばす。

対応と成果

(B学科・LAセンターの事例)

- **対人コミュニケーション能力の育成**に関して、LA科目「日本語リテラシー」「日本語コミュニケーション」を始め、インターンシップ科目、就業力育成科目においても**実践的なトレーニング**を繰り返している。
- また、学科の専門科目や各ゼミでは、**口頭で伝えられたこと**をしっかりと受け止めて対応できるようになることを目指して、**グループワークやプレゼンテーション**などを積極的に取り入れた授業を展開した。
- いくつかのゼミでは、**地元の企業との産学連携**を実施しており、企業の方やお客様など様々な年代の方とコミュニケーションを取る機会を提供した。
- 1年次後期もこうした取り組みを継続していくことによって、1年次終了時のインターンシップに参加する頃には、ほぼすべての**学生が社会人として必要な対人コミュニケーション能力を身につける**ことができるようになる。

頂いたご意見への対応(DX関連)③

| | |
|-------------------|--|
| ご意見の内容 | 保育実践の現場における 動画編集の技術 を今から身につける必要がある。 |
| 対応と成果 (P学科の事例) | <ul style="list-style-type: none">• 表現発表プロジェクト「新入生歓迎オリエンテーション」において、学生生活マナー及び受講マナー紹介のための動画を製作した。各項目を端的に表す静止画にナレーションを入れて分かりやすく説明するとともに、各班のマイスター及び2年生の紹介動画も併せて挿入した。• 全員ではないものの動画係(2～3名×11班)がPC及びスマートフォンでの編集技術を身につけた。• その成果として、動画素材に関する最低限必要な注意点(縦横比、カット割り、画質、文字入れ、音声入れなど)や、基本的な編集の仕方を理解することができた。また担当部分の動画の保存や出力の仕方、共有の仕方なども理解することができた。 |

頂いたご意見への対応(DX関連)④

| | |
|-------------------|---|
| ご意見の内容 | 保育現場における保護者との情報共有や園児の安全確保のための、IT活用方法やドキュメンテーションを学ぶ必要がある。 |
| 対応と成果 (P学科の事例) | <ul style="list-style-type: none">• 1年生後期必修授業にて、『日本版保育ドキュメンテーションのすすめ』(小学館)を資料としてスライドで提示し、写真を使用したドキュメンテーション(実践の記録)の基本を紹介した。• 1年生通年必修授業では、模擬保育の写真を利用してドキュメンテーション形式の保護者向けお知らせを作成するという課題を課した。その成果として、保育ドキュメンテーションの基本やドキュメンテーション形式の報告の利点・意義を理解し、アプリケーションを利用して写真とテキストを盛り込んだコンテンツを作成する経験ができた。2年次の実習で、授業で習ったことを現場で活用する機会を得た学生もいた。• なお、1年次必修科目では、以前よりタイピングやワード、エクセル、パワーポイントの学習のなかで写真の取り込みや編集を含めた文書作成を学んでいる。来年度より、より保育者の実情に合わせたIT技術の習得を目指し、内容を見直す予定である。 |

頂いたご意見への対応(SDGs関連)①

| | |
|-------------------|---|
| ご意見の内容 | ボランティアなどの 実際の体験 を通して学べるような活動を取り入れる。 |
| 対応と成果 (L学科の事例) | <ul style="list-style-type: none">• 近隣の小学校でのスクールボランティアや夏休みの学習ボランティアなどを行っている。• 厚木市内の5大学の学生による「あつぎにぎわいアドベンチャー隊」に参加している学生もいる。• 商業施設とのコラボレーションなどを積極的に行っている。本厚木ミロードのSDGs月間に湘北SDGsの展示を行ったり、ファッションコーディネート対決を行ったりした。• 地産地消として、JAあつぎや夢見市の野菜などを使ってのメニュー開発なども行った。 |

頂いたご意見への対応(SDGs関連)②

| | |
|-------------------|--|
| ご意見の内容 | 課題に対して、どのように取り組むのか考えさせ、気づきを得る。 |
| 対応と成果 (L学科の事例) | <ul style="list-style-type: none">「生活とSDGs」や「ライフスタイルマネジメントの基礎」で、社会で起きている具体的な事例を視覚に訴える教材で提示し、どうすれば解決に近づけるかグループディスカッションや振り返りレポートを書かせている。前期後半では、ゲスト講師を招き、気候変動時代における食と農のかたちについて講演を聴き、「Moisculture」という特許技術によって、水不足、土不足、高温の場所でも栄養価の高いトマトが栽培できることを知り、技術革新で課題解決に取り組む実践者の姿から多くのことを学んだ。 |

頂いたご意見への対応(SDGs関連)③

| | |
|-------------------|--|
| ご意見の内容 | 多角的な視点を持ち、異なる価値観をすり合わせ、実行に移す経験を積む。 |
| 対応と成果 (L学科の事例) | <ul style="list-style-type: none">SDGsの授業で扱う課題には正解がないので、基本的な知識や具体例を提示した後は、グループディスカッションで話し合い、他者の意見を聞く機会を多く設定している。 |

頂いたご意見への対応(SDGs関連)④

| | |
|-------------------|--|
| ご意見の内容 | 個人で今からでも出来る事を学ぶ。 |
| 対応と成果 (L学科の事例) | <ul style="list-style-type: none">「生活とSDGs」では、毎回SDGs17の目標のいずれかを学んだ後、日常生活で取り組めるアクションを言語化させている。例えば、エコバッグを持ち歩く、紙のストローを使う、節電する、フードロス削減のために計画的に買い物や調理をする、低価格だからといって安易に衣類をネット通販で買わない、友達を大切に する、などが挙げられている。 |

頂いたご意見への対応(SDGs関連)⑤

| | |
|-------------------|--|
| ご意見の内容 | 業界などに関わらず今後どの企業も避けられない領域について、ある程度知っておく。(5.ジェンダー 7.エネルギー 8.働きがいも経済成長も 13.気候変動) |
| 対応と成果 (L学科の事例) | <ul style="list-style-type: none">2年生向けの授業において、就職活動と結び付け、男女の賃金格差やジェンダーバイアス、ディーセントワークについて学んだ。また、特別講師の授業では、気候変動のみならず、エネルギーや働き方について考える機会を得た。 |